

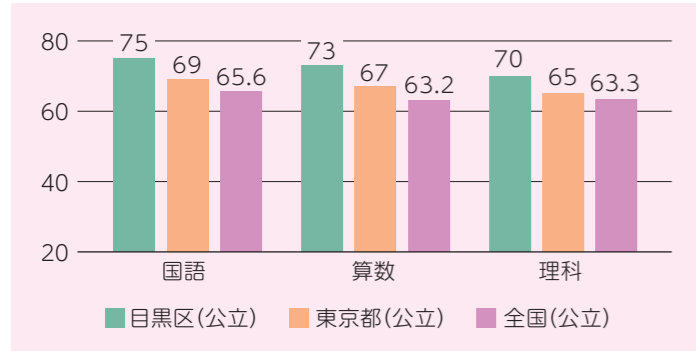
# 全国学力・学習状況調査結果と 目黒区学力調査結果をお知らせします。



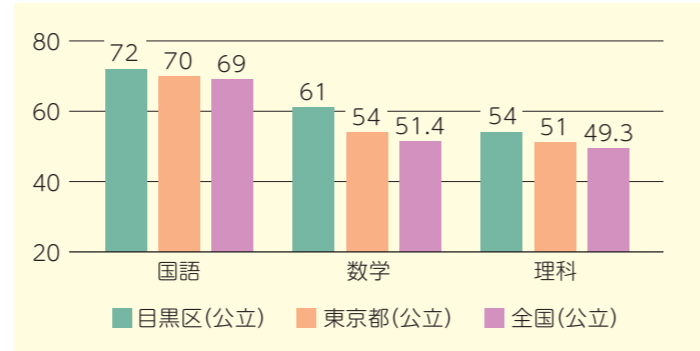
**全国** 教科に関する調査結果 【調査対象】小学校第6学年、中学校第3学年 【調査日】令和4年4月19日(火)

目黒区の平均正答率は、小・中学校ともに、調査した全教科において、全国平均・東京都平均を上回りました。特に算数・数学については、小学校では全国の平均正答率を9.8ポイント、中学校では全国の平均正答率を9.6ポイント上回っています。授業の取組が良好であると考えます。

■小学校の平均正答率(%)



■中学校の平均正答率(%)



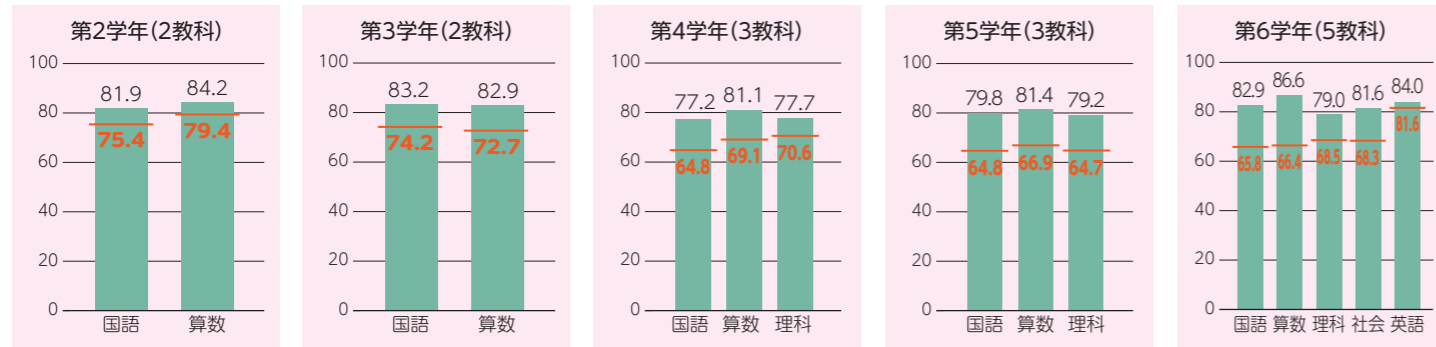
※平均正答率…国語、算数・数学、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)

**目黒区** 教科に関する調査結果 【調査対象】小学校第2学年から第6学年、中学校第1学年から第3学年 【調査日】令和4年4月14日(木)

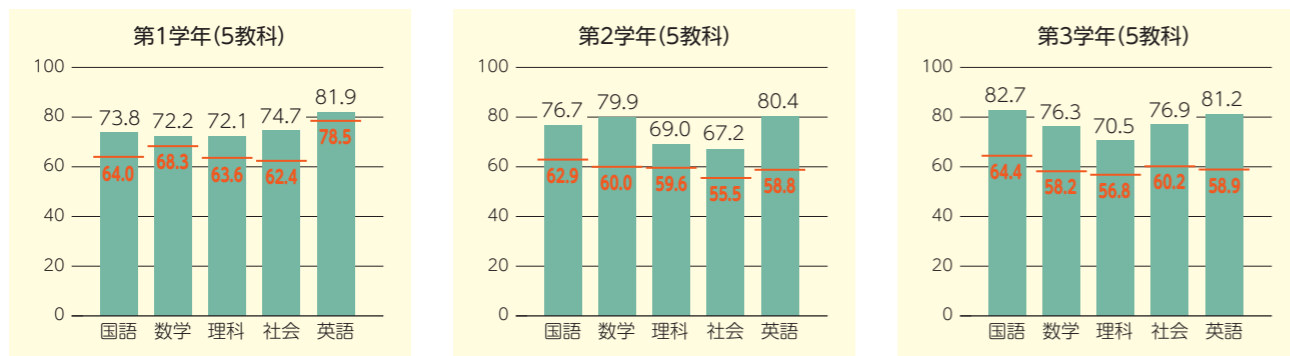
調査結果は、小・中学校ともに、全学年・全ての教科において達成率(目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合)が目標値を上回っています。特に、小学校では、国語と算数において達成率が目標値を大きく上回っている学年が多くあります。中学校においては、第2・3学年の英語の達成率が目標値を大きく上回っています。引き続き、ICTの活用も進めながら、授業の工夫・改善を行ってまいります。

— オレンジのラインは、各学年・各教科の目標値(%)を示しています。

■小学校の各教科の達成率(%)



■中学校の各教科の達成率(%)



※目標値…学習指導要領に示された内容について、標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した児童・生徒の割合  
達成率…目標値と同程度以上の正答率であった児童・生徒の割合

## 各学校の特色ある取組の紹介

～40分授業午前5時間制～



目黒区の小学校15校は、文部科学省研究開発校として40分授業午前5時間制の研究開発に、取り組んでいます。研究推進のため、東京都教育委員会より目黒区内に5名の教員が配置されました。それらの学校の特色ある教育を紹介します。

### 中目黒小学校

「主体的・対話的で深い学び」の実現  
『マイプラン学習(中目版自由進度学習)』

「先生が教える授業から児童が学ぶ授業へ」児童が自分で計画を立てて課題、方法、進め方などを自分で決めて行う新しいスタイルの授業です。学習する場所や学び方、課題も本人次第です。教室の座席だけでなく廊下のフリースペースなど、集中しやすい場所で学習を進めます。教員自作の「学習の手引き」を手掛かりに自分に合った学び方ができるので子どもたちにも好評です。



### 下目黒小学校

課題を「自分事」として捉え 主体的に探究する  
児童を育てる『生活科・総合的な学習の時間』

昨年度から始めた「SDGs発表会」に向けては、表現力をはぐくむとともに「自分にできることは何か」という視点を常にもって学習するように、生活科・総合的な学習の時間を進めています。また、午前5時間制により生み出した「プラス1タイム」を活用して体験的な活動の充実を図り、児童が実感を伴う自分事として課題を捉えられるように工夫しています。写真は4年生が紙すき体験をしているところです。



### 向原小学校

「学びの自立」を実現できる学校へ  
『チャレンジタイム』・『予習型40分授業』

児童の「学びの自立」を目指し、①週2～3回、20分間の『チャレンジタイム』を位置付け、児童が計画を立て、学習方法や内容を選び、自分で取り組むことで、主体的な学び方を身に付けています。②『予習型40分授業』では、学習に必要な既習事項や基礎

知識などの内容を「先取り学習」にして、個人のペース・時間で家庭学習し、授業では個人学習や調べ学習、探究などを充実させています。①②の活動を通して、児童のための主体性と学びに向かう力を伸ばしていきたいと思ひます。



### 鷹番小学校

自主性と実践的な態度を育む  
『たてわり班活動』

たてわり班活動を年間通して実施し「自主性と実践的な態度」をはぐくんでいます。下学年は、上学年と過ごすことを喜びに感じています。上学年は、楽しく活動できるよう気遣いをするなどリーダーシップを発揮して活動しています。右の写真は班ごとに校舎を巡るゲームをしているところです。



### 緑ヶ丘小学校

子どもが自ら成長する習慣の取組  
『ステップアップカード』

毎週金曜日に一週間を振り返り、目標が達成できたか、学習への取組はどうであったかなどを「ステップアップカード」に記入しています。振り返りを活かして次週の目標をカードに記述します。継続的に取り組み、目標設定や自己評価をすることで自己マネジメント力が高まります。次週は「自分の考えを発言するようにしたい」と目標を決めた児童は進んで挙手をするなど主体的に取り組む姿が見られました。

